

虚空蔵山 (こくぞうさん)

長崎県 東彼杵郡 ・ 佐賀県 嬉野市 2026年 6月11日

九州のmatterホルン・信仰の山 虚空蔵山

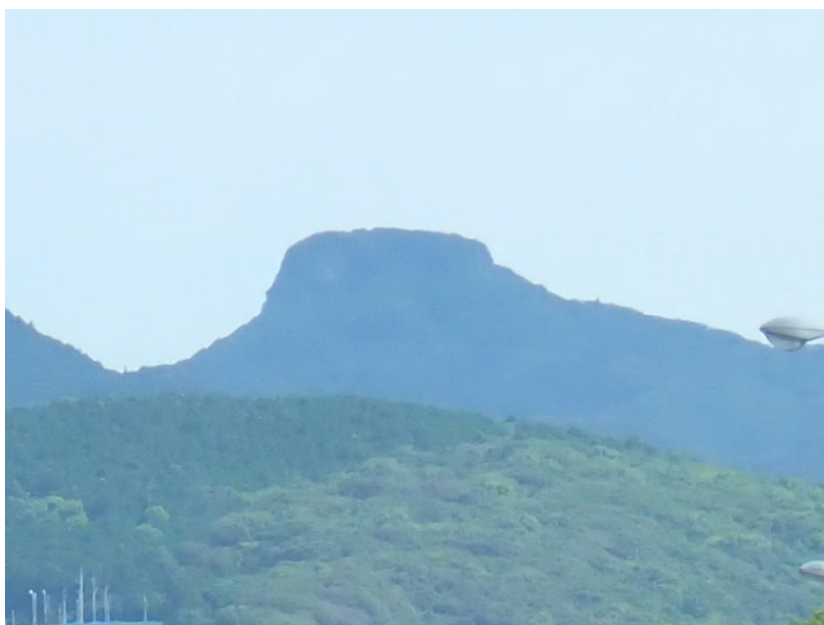


下山後に川棚町まで車を走らせ、橋の上から九州のmatterホルンにご対面！

本日のコース <全行程 2時間28分>

岩屋登山口 10:01 → 犬の墓 10:34 → 虚空蔵山山頂 11:07<昼食休憩>11:43 →
犬の墓 12:05 → 岩屋登山口 12:29

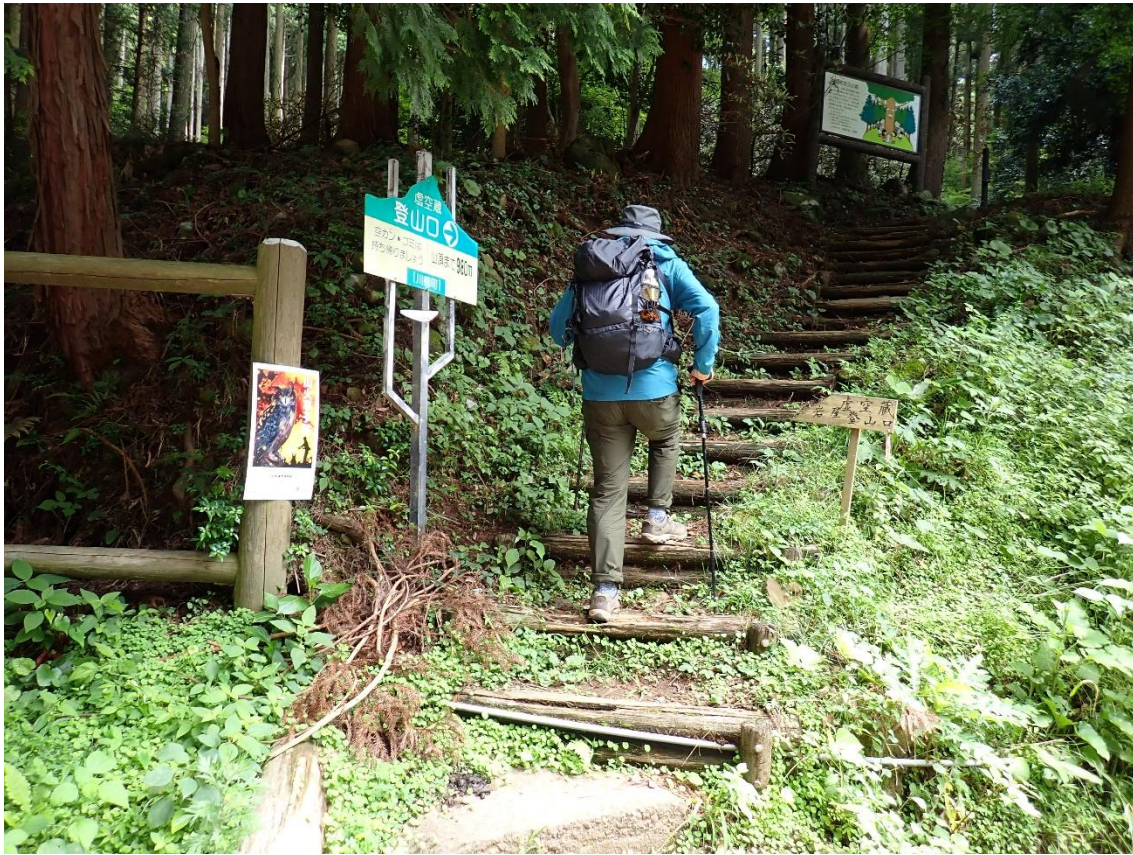
前日は雲仙市の九千部岳(九州百名山)に登って、国見町に宿泊。朝7時の朝食後に出発して、虚空蔵山(九州百名山)の岩屋登山口に到着したのか10時近くだった。途中車窓から見た虚空蔵山は眺める角度が悪いのか、台形にしか見えない。九州のmatterホルンと言われる山容を是非この目で見たくなり、下山後に虚空蔵山の雄姿を探して川棚町へ行くことにした。



高速道路から見た虚空蔵山
山頂は台形でこれが九州のマッターホルンなの？
見る角度で全く違った山容に見えるみたいだ！



岩屋登山口 9:45 到着
駐車スペースはさほど広くない。近くの空きスペースを加えても5～6台位だろうか。
トイレや休憩用の東屋があるのはありがたい。



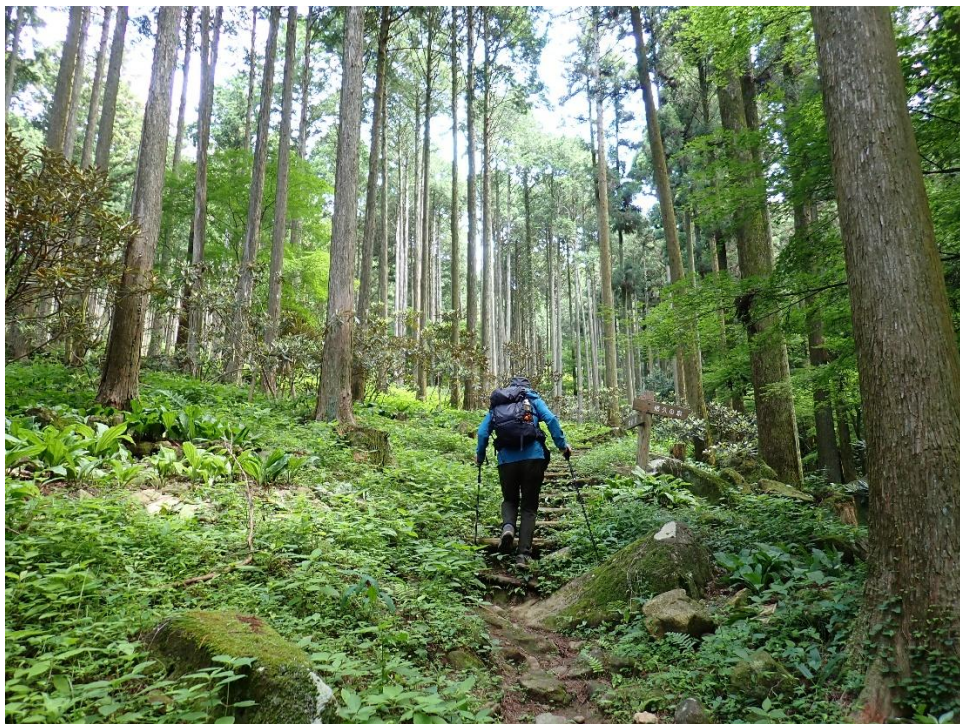
岩屋登山口 10:01 スタート



山頂まで980m で楽勝気分



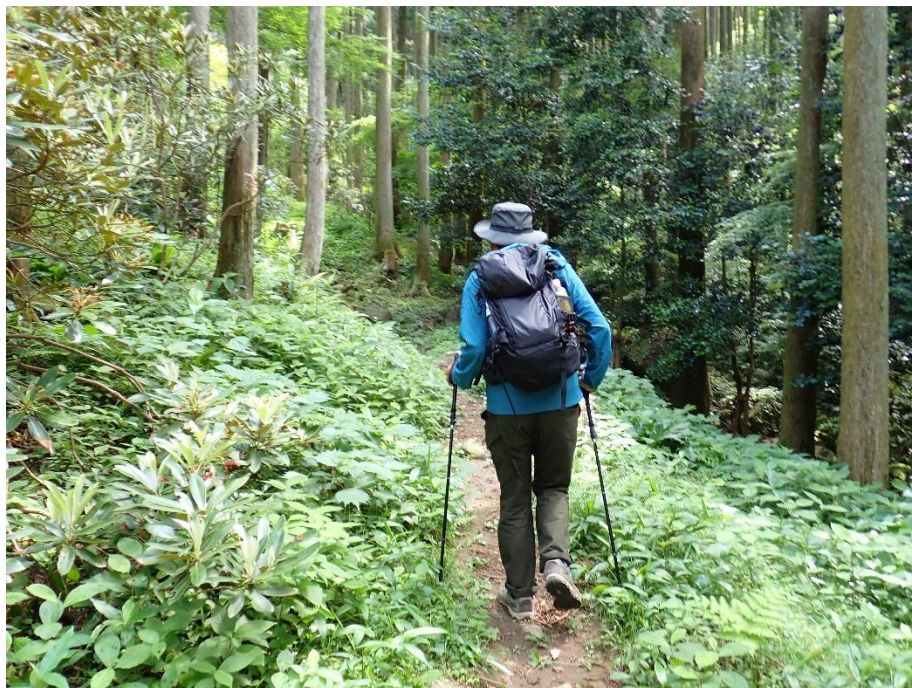
登山道の両脇にシャクナゲが並ぶ。開花時期はさぞ綺麗な登山道だろう。



杉木立の中をゆっくり歩いて行く 10:04



キバナノヤマオダマキ 10:08 ひっそり一輪咲いていた



草花の観察を楽しみながら進む 10:09



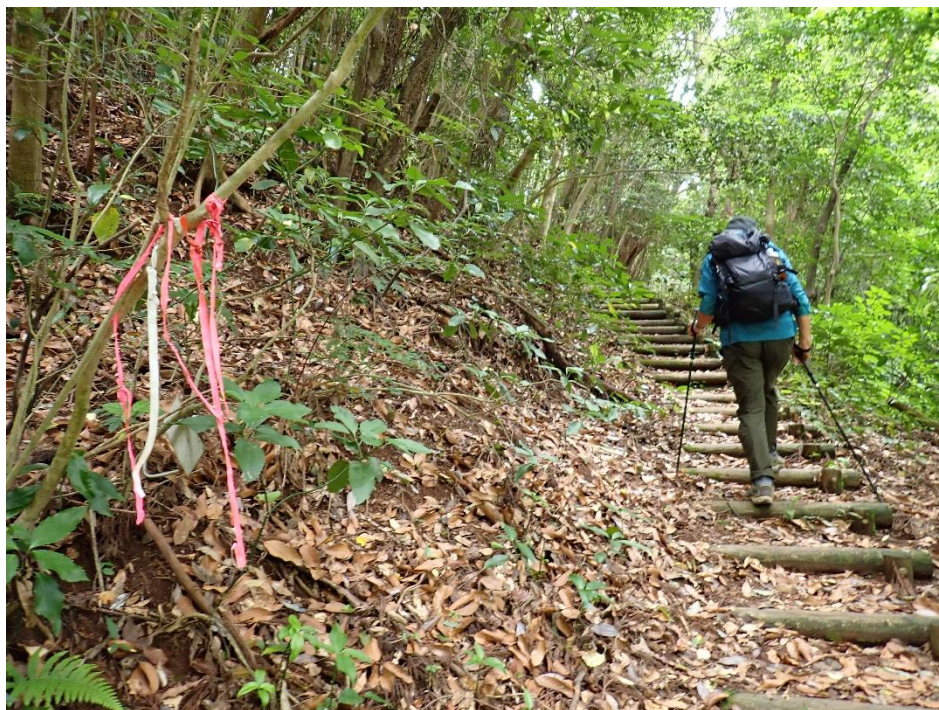
ミズヒキ 葉の表面に「ハ」の字型の模様がある



メヤブマオ 花は8月～10月に咲く



キバナノヤマオダマキ 10:17 ここはたくさん咲いていた



所々に赤テープの目印がある 10:32 長い階段を上る



尾根に乗ったと思ったら・・・ 10:33 何かあるぞ！



犬の墓 10:34 ここは分岐になっている



犬の墓に手を合わせて通過 10:34 山頂まであと470m



大きなスダジイの横を進んで行く 10:41 アカガシの木も目立った



長い急登の途中で腰を下ろして小休憩 10:46



マメヅタ



分岐 10:50 山頂方向に進んで行く



分岐から石段を上って行くと... 10:51



また分岐に出会う 10:54 山頂を回り込むような感じ



左側に大きな岩の壁 10:55 右側には転落防止の柵がある



急な石段を鎖に頼って上って行く 10:57 下りは要注意！



石段を上り詰めると「岩屋口」 10:59 ここは山頂直下になる



更に一段岩場を上ると・・・



祠が見えてきた 11:02 祠の向こうに山頂碑があるようだ



信仰深いT師匠



これが虚空蔵菩薩？



お地蔵さんのようだが..



愛宕大神(神仏習合)

祠が三つ 11:05 それぞれお参りしたが、かなり風化していて歴史を感じる



虚空蔵山山頂 11:07 608m 眼下には大村湾

山頂ではスイカズラとヤマツツジが出迎えてくれました



スイカズラ



三脚を据えて登頂記念撮影 そして 昼食休憩



山頂碑の近くに展望説明プレートが立っている

このプレートの中に「**川棚町中心地**」という表示があった

山頂から目を凝らすと、大きな川が流れていて橋が架かっている
 と言うことは・・・

あの橋まで行けば虚空蔵山の山容が見えるはず
 見てみたいと思っていた「九州のmatterホルン」の山容を期待して、
 下山後に川棚町へ行ってみることにした

虚空蔵山山頂からのパノラマ



経ヶ岳(熊本県)

大村湾

川棚町中心地



昼食を終え、三つの祠にご挨拶して下山に取り掛かる 11:41



下山開始 11:43



岩屋口 11:46 ここから急な鎖場の石段下りとなる



急な石段下りを終わると分岐 11:50



分岐 11:53 岩屋方面へ



犬の墓 12:05 岩屋方面へ



クサヤツデ？



一段下って杉木立の中へ 12:17



エビネの葉に似ているけど・・・何だろう？



岩屋登山口 12:29 ゴール



登山口横の駐車スペース 12:29

2時間28分の山歩きが終了
スマホの歩数計は5732歩
T師匠お世話になりました。お疲れ様でした。

でもこれで終わりではありません
「九州のmatterホルン」を探しに行きます！

山頂から見た川棚町中心地へGO！

山頂から見た川棚町の橋に到着すると・・・



確かにマッターホルンに似ているような・・・
見事な「九州のマッターホルン」の山容と対面して満足しました



<参考> スイス・ツエルマットのマッターホルン(1983年)